

指導案 (60 分)

■基礎データ

タイトル	外国籍住民の方々の災害時の現状と「やさしい日本語」を学ぶ	
ねらい (学習目標)	1. 災害時の外国籍住民の方々の現状を知る 2. 「やさしい日本語」の基本的なルールを学ぶ 3. 災害情報の正しい知識を学ぶ	
対象	地域住民の方(高校生以上)	
教科・イベント等	事前学習	
学習形態	全員 (授業)	計60分
準備	ワークシート、アンケート	

■学習の流れ


構成	学習活動の内容	留意点 
1 導入 (8分)	1. 在日外国人の災害時の現状を知る (8分) 1-1.日本と外国の災害への備えの差を知る(1分) 学習のポイント 1「日本と外国での災害の発生頻度の違いを知る。」	<p>※事前事後評価を行う場合「勉強会前アンケート」を勉強会前に回答しメールで送ってもらう。</p> <p>【1】「まずはじめに、本日配布いたしました資料の確認をさせていただきます。①行政他作成「やさしい日本語」資料②用字用語辞典③カテゴリーⅡガイドライン④これさえあれば「やさしい日本語」図鑑(カテゴリーⅠ対応)⑤これさえあれば作り方ガイドブック⑥パンフレット「やさしい日本語」が外国人被災者の命を救います⑦「やさしい日本語」で表現するカタカナ外来語・アルファベット単位記号用字辞典(カテゴリーⅠ対応)の7種類の資料がございます。」</p> <p>※配布資料を変更する場合には、必要なものを選択して使用する。</p> <p>【2】「本日は、「やさしい日本語」が開発された経緯と「やさしい日本語」と基本の12のルール、そして災害時における知識という流れで行います。」</p> <p>【3】「前のスライドには、近年の自然災害を載せています。毎年多くの自然災害が全国各地で発生し、『日本は災害大国』とも言われています。中でも地震は急に発生しますので、とても大きな被害をもたらします。南海トラフ地震などの大きな地震もいつ発生してもおかしくないと言われているこの時代に私たちは日本で生活をしています。」 ※過去に発生した地震 (左上:熊本豪雨災害(2020)左下:熊本地震(2016)真ん中:大阪北部地震(2018)右上:北海道胆振東部地震(2018)右下:東日本大震災(2011)) について、写真を見せながら被害をイメージしてもらう。</p> <p>【4】「こちらは、1990年から2000年までの地震の震央分布表した世界地図で、マグニチュード4以上の地震が発生した所が赤で示されています。日本は赤の点で覆われていますが、お隣の国韓国を見てみますと、日本よりも赤の点が少なく、地震の発生が少ないことが分かります。」</p> <p>【4】「このように地震があまり起こらない国では、私た</p>


1-2.災害時に外国人が陥る状況を知る(6分)


学習のポイント 2「災害時に外国人が二重の被災者になることを知る。」


ちが当たり前だと思っている災害の知識や、地震がいつでも起きてもおかしくない日本の現状を知らない外国人の方も大勢います。」

※地震発生の世界地図を見てもらい、日本の地震の多さを実感してもらう


【5】「では、日本で災害が発生した際、外国人はどのような状況に陥ってしまうのでしょうか。災害時に外国人が陥る現状として大きく5つ挙げる事ができます。」


【5】「一つ目に、災害時の基礎知識が少ないという現状があります。私たちは地震が来たらまず何をしますか？きっと多くの方が、机の下に隠れることや頭や体を守る行動を取ると思います。こういった行動はシェイクアウトと呼ばれるものですが、地震をあまり知らない国の外国人であればシェイクアウトなどの知識を持っていないことがあります。」


【5】「二つ目に、母語で詳細な情報が得られないという現状があります。」


【6】「こちらは出入国在留監理局が発表している在留外国人の国籍と公用語を示したものです。上位1位から10位までの間に9つの言語が公用語として使用されており、英語が公用語の国は二か国（フィリピン、アメリカ）に限られています。」


※実際に東日本大震災の際、地震が発生したことを知らず、後から母国のニュースを見て知ったという外国人の方もおられました。

【7】「三つ目に、災害時の日本語が難しいという現状があります。こちらは後ほど皆さんに体感していただきます。」

【7】「四つ目に、地域との付き合いが希薄という現状があります。自治会や町内会などに普段から参加できていない外国人が多く、災害時孤立してしまう方が多くおられます。」

【7】「五つ目に、行政の対応が遅れているという現状があります。少しずつ多言語での対応もなされ始めていますが、十分ではないのが現状です。」

【8】「災害救助の現場において、災害発生から72時間が重要だとせれています。しかしその間(アニメーション1)電話やインターネットが使用できず、(アニメーション2)情報が伝わりにくい状況に陥ってしまいます。」

【9】「そういった状況で外国人は「何が起こったのか」、「どうしたらよいのか」※1分分からないまま、災害による被災と情報が入ってこないことによる被災の二重の被災者となってしまいます。※2(アニメーション1)外国人が自ら判断し、避難所へ行くなどの行動ができるようになることによって、(アニメーション2)心の負担軽減に繋がります。」

※1「何が起こったのか」：例) 近くの工場が爆発したのか？隕石が


	<p>学習のポイント 3「災害時に「やさしい日本語」が有効であることを理解する。」</p>	<p>落ちたのか？地震が発生したのか？</p> <p>「どうしたらよいのか」：例) 地震により建物の中に閉じ込められてしまった際、今日は？明日は？家族は？という不安</p> <p>※2例) 食料</p> <p>地震発生により、自力での食料確保が厳しい時、これからどうやって生きていけばよいのかという生死に関わる問題となる。しかし、避難所へ行けば炊き出しや食料の配布があるということを知っていれば、食料を確保することができる。</p> <p>【10】「そこで有効となるのが「やさしい日本語」です。災害時に外国人被災者に正確な情報を伝える 1 つの方法として弘前大学人文学部社会言語学研究室によって作成されました。阪神淡路大震災の際、神戸などに暮らす多くの外国人も被災しました。*英語も日本語も不自由で、先ほど紹介したような二重の被災者がたくさんいました。こういった反省を元に「やさしい日本語」は作成されました。」</p> <p>※外国人方々へ情報が届いたのは夕方頃だったと言われており、発災からおよそ 12 時間が経過していました。</p>
<p>2 展開 1 (30 分)</p>	<p>2.やさしい日本語がどのような物なのかを知り、作り方を学ぶ (30 分)</p> <p>2-1.日本語の複雑さを体感してもらおう (5 分)</p> <p>学習のポイント 1「日本語特有の言い回しや複雑な表現がたくさんあることを実感する。」</p>	<p>【11】「こちらの写真、みなさん覚えているでしょうか。東日本大震災の際、仙台空港は津波による大きな被害を受けました。多くの外国人は、日本で地震が発生すれば母国に帰りたいと思うはずですが、母国へ帰るためには、入局管理局での審査が必要となります。」</p> <p>【11】「(アニメーション 1) これは東日本大震災の際に実際に使用された入局管理局の業務に関する情報です。今から 1 分間お時間を取りますので、読んでみて下さい。」</p> <p>※配付資料を読んでもらう。</p> <p>【11】「突然ですが、ここでいくつか質問をします。」</p> <p>※内容に関する質問をいくつかする。</p> <p>例) ・飛行機は飛んでいますか？</p> <p>→ (アニメーション 2) 14 日(月)からの入局管理局における業務は通常どおり実施する予定とのことです。</p> <p>・いつから相談できますか？</p> <p>→ (アニメーション 3) 12 日正午からインフォメーションセンター用電話を 24 時間体制にして、出入国管理に関する相談業務(日本語のみ)を実施とのことです。</p> <p>【11】「いかがでしたか。先ほど紹介した『災害時に外国人が陥る現状の三つ目、災害時の日本語が難しい』というところを実感していただけたでしょうか。」</p> <p>【12】「では次にこれが、やさしい日本語で書きかえたものです。こちらも 1 分間お時間を取りますので、読んでみて下さい。」</p> <p>※実際に読み比べてもらうことで日本語の表現に複雑な表現が多いを実感してもらう。</p> <p>【12】「このように、欲しい情報、必要な情報から伝えることで伝わりやすい表現となり、翻訳もしやすい文章と</p>


2-2.「やさしい日本語」の 12 のルールを理解する(20 分)


学習のポイント 1「やさしい日本語」に書きかえる際のルールを理解する。

学習のポイント 2「熟語ではなく、動作などの具体的なものや行動が伝わりやすいことを知る。」

なります。いかに日本語が複雑で難しい言い回しが多いかということに気づいていただけたでしょうか。こういった「やさしい日本語」を作成するには、基本の 12 のルールを知っておく必要があります。」


【13】「では、本日のメインである「やさしい日本語」の基本の 12 のルールを 1 つずつ見ていきます。」

【14】「1 番目は、「簡単な言葉にする」です。」


【14】「避難するはどのように言いかえると伝わりやすいと思いますか？*1 (アニメーション 1) 避難するは逃げると言いかえると伝わりやすくなります。貴重品は、大切なものと言いかえることができます。このように音読みよりも訓読みで表現するようにします。*2」


※1 どのように言いかえられるのかを答えてもらう。

※2 「逃げる」「大切なもの」といった訓読みから習うため。

【14】「では、雨具はどのように言いかえることができると思いますか？* (アニメーション 2) 雨具は傘やレインコートと言いかえると伝わりやすくなります。暖かくするは、服をたくさん着ると言いかえることができます。このように具体的なものや行動を示すようにします。」


※どのように言いかえられるのかを答えてもらう。


【14】「では、言いかえるにあたってどのような言葉が伝わりやすく、どのような表現が難しいのかを判断する必要があります。」


【15】「「やさしい日本語」の基準は日本語能力試験の N4 から N5 レベルとされています。N1*1 から難しく、N5 にかけて簡単になります。N4 から N5 レベル*2 は、1 人でバスに乗ったり買い物ができる。簡単な文章の読み書きができる。小学校 3 年生の国語の教科書レベルとされています。(アニメーション 1) 言葉の難易度を調べる一番有効なツールとして、インターネットから誰でも使用できるリーディングチュウ太を紹介します。」

※1N1 は日本人と一緒に大学で勉強できるレベル

※2 漢字 (300 時程度)、語彙 (1500~2000 語程度)、約 2500 語

【16】「こちらはリーディングチュウ太を使用した際の実際の画面です。先ほど紹介した「避難する」を入力します。(アニメーション 1) 語彙のボタンをクリックすると、(アニメーション 2) 「避難」という語彙が N2 に判定されます。(アニメーション 3) N1 から難易度が高く、N5 にかけて難易度はやさしくなります。N2 は災害時の「やさしい日本語」の対象外であり、「避難する」は言いかえが必要だということが分かります。」

【16】「(アニメーション 4) 「避難する」を言いかえた「逃げる」を入力し判定すると、「逃げる」は N4 と判定され、「やさしい日本語」として使用できるということが分かります。」

【17】「リーディングチュウ太の他にも、『これさえあ


学習のポイント 3「1文に1つの意味にすることで理解しやすい文章になることを理解する。」


学習のポイント 4「難しい単語でも、災害時に多用される言葉はそのまま使用することを知る。」


学習のポイント 5「外来語には、外国人に伝わらない言葉があることを知る。」

れば！！「やさしい日本語」作り方ガイドブック』※なども参考にすることができます。」

※資料がない場合は省略することも可能です


【17】「(アニメーション 1)「やさしい日本語」は語彙や文法が限られており、すべてを伝えられる魔法の言葉ではないことを頭に置いておいてください。」


【18】「2番目は、「1文を短くする」です。」

【18】「「地震の揺れで壁に亀裂が入ったりしている建物に近づかないでください。」という文章を見てみます。(アニメーション 1)「地震の揺れで壁に亀裂が入ったりしている」が「建物」を修飾しています。(アニメーション 2)長い連体修飾語は文章を理解しづらくしてしまうので、(アニメーション 3)「地震で壊れた 建物に 気をつけてください。」と書きかえます。(アニメーション 4)この文章にも連体修飾語が含まれており、(アニメーション 5)動詞も2つ入っています。(アニメーション 6)それぞれ1文で表現することができるので、「建物が 壊れています 気をつけてください」と書きかえます。(アニメーション 7)このように主語と述語を一組だけ含む文章にし、一文に意味が一つになるようにします。この時、句読点は使わず、その代わりに分ち書きをするようにします。*1」


※分ち書きは基本の12のルールの中の7番目にて説明


※「長い連体修飾語は避ける」「一文に意味は一つ」の二つのポイントを押えておくことで、外国人の方とのコミュニケーションが取りやすくなる。

【19】「3番目は、「災害時によく使われる言葉はそのままにする」です。」


【19】「災害時によく使われる言葉はそのまま使い、〈角括弧〉で言いかえます。*」


※資料がない場合は説明を省略することも可能です

【20】「こちらは勉強会資料に載せている「やさしい日本語」(カテゴリーI)言いかえリストです。一つ目に紹介した(アニメーション 1)「暖かくする」は「服をたくさん着る」、「雨具」は「傘やレインコート」と言いかえられています。(アニメーション 2)また、「災害時によく使われる言葉はそのままにする」の例として「懐中電灯」は「懐中電灯<手に持つ電灯>」、「崖」は「崖<山の急なところ>」と言いかえられています。」


【20】「黄色でマーカールしている「迂回する」「(電車は)運転を見合わせる」は意味は簡単ですが、難しい言い回しになってしまっています。」

※各自勉強会後にも見てもらうよう促す。


【21】「4番目は、「外来語に気をつける」です。」

【21】「外来語には、もともとの言葉とは全く発音や意味が異なるもの、英語が省略されたものがあります。ガス、テレビ、コンビニ、バスといった生活に密着しているもの


は使用することができます。しかし、ライフラインは日本語では電気・ガス・水道を意味しますが、英語では命綱という意味になってしまいます。また、バンドエイドは商品名です。エアコン、リモコン、パソコンはエアーコンディショナー、リモートコントローラー、パーソナルコンピューターを省略したものです。」


 【22】「では、ここでクイズです。この中で和製英語はどれでしょうか？※（アニメーション 1）正解は、全てです。カタカナ外来語の方が伝わりやすいと勘違いをしてカタカナ外来語で説明しようとする人もいますが、身の回りにこんなにも和製英語が多いということは、カタカナ外来語に注意が必要だということが分かります。」

※どの単語が和製英語かを答えてもらう。

 【23】「こちらは、『カタカナ外来語・アルファベット単位記号用語辞典』※から抜粋したものです。例えばストレスは A と B の 2 つの意味を持っており、それぞれ例文付きで紹介されています。また、ネットは級外の難しいとされる単語ですが、インターネットと言いかえることで在日外国人には 100% の理解率となることなども紹介されています。」


※資料がない場合は省略することも可能です

 【24】「5 番目は、「ローマ字は使わない」です。」

 【24】「文化庁の在住外国人調査ではひらがなの識字率が 84.3% なのに対してローマ字は 51.5% となっており、分かりづらくなってしまっていることが分かっています。（アニメーション 1）これは京コンピューター前駅のローマ字表記ですが、「京」はアルファベットで表記されており、「コンピューター」は英語、「前」はローマ字と、ふりがなと発音が異なっていたり、英語と混在しており日本人の私たちにとっても分かりにくくなっています。（アニメーション 2）阪急電車ではこのように大きなひらがなで表記されており、ひらがなの識字率の方が高い外国人にとっても分かりやすい表記となっています。」

※ローマ字は駅名や地名などの固有名詞を表記するためのもので、文章としては適さない（弘前大学 人文学部 社会言語学研究室）

※スライドを見てもらいながら、ローマ字表記の難しさを実感してもらおう。

 【25】「6 番目は、「擬態語の使用を避ける」です。」

【25】「「雨がしとしと降っている」「パラパラ降っている」「ザーザー降っている」※など全て擬態語です。擬態語は日本語が流暢な外国人にとっても難しい言い回しなので、何かを説明する際に使わないように注意が必要となります。」

※例) ・急にグラグラと揺れて、ドキドキした。


・物がガチャガチャと音をたてた。


・ポイ捨て ・めちゃめちゃ ・キラキラ ・ピカピカ

学習のポイント 6「ローマ字の表記は分かりにくいことを知る。」

学習のポイント 7「擬態語は日本語特有の表現であり、伝わりにくいことを知る。」


学習のポイント 8「漢字の使用量や書き方、文章の表記方法を知る。」


【26】「7番目は、「掲示物や配布物などの漢字のレベルや使用量に注意する」です。」

【26】「例文の「水を無料でもらうことができます」を書きかえていきます。①漢字は一文に3、4字程度にします(アニメーション1)。②すべての漢字にルビ(ふりがな)をふるようにします(アニメーション2)。③文節ごとに分けて分かち書きをします。「～～ネ～～ネ」と「ネ」を入れることができる所が文節です(アニメーション3)。*①から③すべてができると、「水を無料でもらうことができます」と書きかえることができます。この際、句読点は使いません。」


※例では、「水をネ無料でネもらうことがネできます。」と実際に読みながら説明する。


学習のポイント 9「時間や年月日の分かりやすい表現方法を知る。」

【27】「8番目は、「時間や年月日の表記は分かりやすくする」です。」


【27】「左の表記は分かりづらい表記です。(アニメーション1) まず元号は西暦にします。(アニメーション2) 次にスラッシュなどの記号は使わず、何月何日と書きます。(アニメーション3) 時間の表記は12時間制で習われているそうなので、午前と午後を前に付けて書きかえるようにします。また、「～」もスラッシュと同じように記号なので使わないようにします。このように書きかえることで、外国人に伝わりやすくなります。」


学習のポイント 10「名詞化した動詞は難易度が高いことを知る。」

【28】「9番目は、「動詞の名詞化は避ける」です。」

【28】「「揺れがあった」は「揺れる」という動詞を名詞化したものです。また、「助けがきました」は「助ける」を名詞化したもので、これらは使わないようにします。(アニメーション1) リーディングチュウ太の判定を見てみると、動詞を名詞化した「揺れ」や「助け」は級外、N1と災害時の「やさしい日本語」の基準より難易度が高いことが分かります。しかし、「助ける」「揺れる」はN2N3、N4と災害時の「やさしい日本語」として使用することができます。」


学習のポイント 11「あいまいな表現は伝わりにくいことを知る。」

【29】「10番目は、「あいまいな表現は避ける」です。」

【29】「「おそらく」「たぶん」という表現は使わず、「～かもしれません」に統一します。*例の「津波の恐れがあります」は曖昧な表現を使用した一例です。津波は、災害時よく使われる単語なので、後ろに<>(各括弧)をつけて言いかえます。(アニメーション1)そして「恐れ」は使わず、「…かもしれません」に統一させるので「津波<とても高い波>が来るかもしれません」と書きかえます。「津波<とても高い波>が来ます」「津波<とても高い波>が来ません」と書きかえることも可能です。」


※「…かもしれません」という表現から勉強するため。

学習のポイント 12「二重否定の表現は伝わりにくいことを知る。」

【30】「11番目は、「二重否定の表現を避ける」です。」

学習のポイント 13「文末の表現には伝わりにくいものがあることを理解し、分かりやすい表現を知る。」

2-3.「やさしい日本語」がどのような場面でどのように利用されているのかを知る(5分)

【30】「この道はどのように説明することができますか?※1 (アニメーション 1) この道は「通れないことはない」と表現することができます。しかし、この表現は二重否定になっており、分かりづらい表現なので、「通ることができません」「通ることが できます」と言いかえます。より正確に言いかえるには、「自転車で 通ることができません。しかし、歩いて 通ることができます。」や「昼は 通ることが できます。でも、夜は 通ることができません。」と言いかえます。※2」

※1 どのように説明できるか答えてもらう。

※2 例)・トイレトペーパー以外は使わないでください。


→トイレトペーパーだけ使ってください。


・18歳未満はお断り


→19歳から使うことができます。


・灯油以外は入れないでください。


→灯油を入れてください。

【31】「12 番目は、「文末表現はなるべく統一する」です。」


【31】「可能の表現は「することができます」に統一し、「れる・られる」は使わないようにします。例えば、「行けます」は「行くことができます」(アニメーション 1)、「食べられます」は「食べるすることができます」(アニメーション 2)と言いかえるようにします。」

【31】「(アニメーション 3)「また、指示の表現は「～してください」に統一し、「～しましょう・しよう」は使わないようにします。(アニメーション 4)「しましょう」では「一緒に行きましょう」「映画に行きましょう」といった勧誘の意味に取られてしまうことがあります。(アニメーション 5)「手を洗う」の指示の仕方は「手を 洗いましょう」「手を 洗おう」などもありますが、「手を 洗ってください」と統一するようにします。」


【31】「(アニメーション 6) 可能の表現は「～ことができます」、指示の表現は「～してください」と統一します。」


【32】「以上が「やさしい日本語」基本の 12 のルールです。※」

※一つずつルールのおさらいをする。

【33】「分ち書きのルールなど、書きかえる作業などには『これさえあれば!!「やさしい日本語」作り方ガイドブック (カテゴリー I 対応)』などが参考になります。※」

※資料がない場合は省略することも可能です


【34】「今日紹介したのは、日本語能力試験 N4N5 レベルの日本語で、災害発生後 72 時間に使用することを目的として作成されたカテゴリー I の「やさしい日本語」です。」

【34】「災害発生直後に避難所へ誘導をするための放送

学習のポイント 1「やさしい日本語」がどのように使われているのかを知り、身近に感じてもらう。」


案文や話しことばに有効です。また、避難所に移動した後必要最低限の生活情報を伝える掲示板や書きことばとして使うことができます。＊」

※2500語使用することができる。


【35】「日本語能力試験 N2 レベルの日本語まで使用可能なカテゴリーⅡの「やさしい日本語」は日常生活の中で、人に聞くことや辞書で調べることを前提として作成されています。＊」

※2500語では日常生活に支障をきたすため。


※スライドでは特別給付金(COVID-19,10万円)の申請方法についての生活情報を紹介。


【36】『生活情報誌作成のための「やさしい日本語」用字用語辞典』＊では、日常生活において、日本人でも分かりづらい単語や知らない単語もあるかもしれません。ですが、この本に書いてあるものは使用することができ、文章などを作成する際に使ってよい単語か、使ってはいけない単語かを判定する資料として活用できます。」


※資料がない場合は省略することも可能です

【37】「「やさしい日本語」のルールを活用した『分かりやすく 伝えるため』の手引き』＊は京都市から発行されており、行政としてもユニバーサルデザインの視点からすべての人に伝わりやすい情報を発信するための取り組みが始まっています。」


※資料がない場合は省略することも可能です

【37】「また、認知症の方への柔らかい取り組みとしても「やさしい日本語」が注目されており、近年「やさしい日本語」は障がい者や高齢者、子どもにも分かりやすい表現として、医療、教育などの様々な分野で活用が広がっています。」

【38】「こちらは教育現場での「やさしい日本語」の一例で、分かりやすい日本語を赤ペンで書き加えたプリントと「やさしい日本語」で作成されたプリントです。」

【39】「また、こちらは医療現場での「やさしい日本語」で、順天堂大学のホームページに『医療で用いる「やさしい日本語』』＊でいくつかの動画が公開されています。」

※資料がない場合は省略することも可能です

【39】「外国人女性の会 パルヨン」さんは外国人女性たちが日常生活の中での困りごとや出来事などの話題を持ち寄り、外国人女性と日本人女性が一緒になってお話をされています。『となりの外国人とのおつきあい』＊は引っ越してきた外国人がどのようなことで困っているのか、どんな風に声をかけて欲しいのかなどを事例とともに、パルヨンに参加されている外国人女性たちの具体的な声を集めて紹介されています。」

※資料がない場合は省略することも可能です

※ここで一旦休憩 【40】

3 展開 2
(15 分)


3.災害情報の正しい知識を学ぶ (15 分)


3-1.災害情報を理解する(10 分)

学習のポイント 1「指定緊急避難場所と指定避難所の違いを理解する。」


学習のポイント 2「ハザードマップ・防災マップを正しく理解する。」

学習のポイント 3「避難の基準と大雨災害時の避難方法を正しく理解する。」


【41】「ここまで、外国人の方々の災害時の現状、そして「やさしい日本語」の基本の 12 のルールについて紹介しましたが、外国人の方々に正しく伝えるためには、私たち日本人が正しい知識を身に付けておく必要があります。」


【41】「突然ですが、指定緊急避難場所と指定避難所の違いが何だか分かりますか?※」

※違いが何かを聞くか、考える時間を少し取る。


【41】「(アニメーション 1) 指定緊急避難場所とは、津波、洪水等による危険が切迫した状況において、住民等の生命の安全の確保を目的として、住民等が緊急に避難する施設または場所のことを言います。(アニメーション 2) 指定避難所とは、避難した住民等を災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在させ、災害によって家に帰れなくなった住民等を一時的に滞在させる施設のことを言います。」

※黄色のマーカー部分を強調して説明する。


【42】「では、京都府精華町の浸水・土砂災害ハザードマップを見て確認してみます。(アニメーション 1) 凡例には、指定避難所、指定緊急避難場所の他にも広域避難所や避難所協力施設などがあります。」

【43】「もう一か所、兵庫県姫路市の CG ハザードマップを見てみます。(アニメーション 1) こちらでは、避難施設が避難所と避難場所と書かれています。現在、指定避難所、指定緊急避難場所の表記に統一するよう呼びかけられていますが、地域によって表記の方法は様々です。(アニメーション 2) 新しい表記方法になった地域などもありますので、今一度自分の暮らす地域のハザードマップを確認してみましょう。また、どこに避難するかだけでなく、どの避難施設にどのような目的があるのかまで確認してみてください。」

※【42】【43】は身近な地域のハザードマップを例に挙げても良い。

【44】「では、こういった情報が発表された時に避難が必要になるのでしょうか。色付けしている警戒レベル 4 の際、全員避難となります。警戒レベル 5 では災害が発生しています。避難レベルとは何か確認しておきましょう。(アニメーション 2) 避難レベルとは、水害や土砂災害に備えて住民が取るべき行動をお知らせするために 5 段階にレベル分けしたもので、市区町村が避難情報と合わせて出す情報のことです。」


※避難情報は市区町村から発表される情報だということを強調する。


【44】「赤字で書いてある避難勧告ですが、表記方法の見直しがなされています。日々、避難情報が更新されますのでぜひ注目してみてください。」

※避難情報の改定によって内容を変更させる。

3-2.外国人への防災教育の促進と
受け入れ体制の見直し(5分)

学習のポイント 1「災害時の外国人の受け入れ態勢を理解する。」


【45】「避難にはいくつか種類があります。まず左上の水平避難です。少しでも危険な可能性がある場合はできるだけ早く安全なうちに避難場所などへ避難してください。その隣の垂直避難は、イラストのように避難が危険な場合には無理に避難せず屋内の2階以上の安全を確保できる高さに移動します。左下の待避は、自宅が安全な場合にその場に留まることを言います。最後に安全確認は、祖父母などの身近な人の安全が確保できているかどうかを確認することや、外国人同士のコミュニティが身近にある方は、日本語の得意な外国人に状況を伝えるなどしてください。(アニメーション 1) 避難指示=全員避難ではなく、安全を確保する行動をそれぞれが取ることが必要です。そのためにも、日ごろから周りの人と話し合い、備えておくことが大切です。」


【46】「外国人の方の中には、避難所がどんなところなのか、そもそも避難所があるかどうか知らない方も多くおられます。※1「何も知らない」よりも「避難所がどんなところか、どこにあるのか知っている」「日本はいつ地震が起こってもおかしくないということを知っている」などの知識があれば、(アニメーション 1) スムーズに身を守る行動に移すことができます。」

※1 心構え+逃げる の日常生活での例

「よーいドン」と急に言われるよりも「位置についてよーいドン」と言われた方がスムーズに走り出すことができる。

→防災においても同じことが言える。


【46】「実際に外国人が避難所に避難してこられた時、専門のスタッフなどは避難所にはいません。市民の方々が受け入れる姿勢を整える必要があります。(アニメーション 2) 外国人向けの質問紙や、(アニメーション 3) 地図帳などを避難所に備えておくことで、こちらからの情報だけでなく、外国人の方の情報を受け入れることに繋がります。」

【47】「もちろん、災害時にはこちらからの情報を伝えることがとても重要となります。『これさえあれば！「やさしい日本語」図鑑 (カテゴリー I 対応)』※1には、様々なお知らせに対応した掲示板が掲載されています。下線部に文言を書き入れることで、分かりやすく情報を伝えることができます。また、作成した掲示板を写真で撮って SNS に載せることで、より多くの人に情報を伝えることができます。」

※資料がない場合は省略することも可能です

※「もらうことができます」など主語が外国人になるように作成すること。

※事前事後評価を行う場合「勉強会后アンケート」を勉強会后に回答しメールで送ってもらう。

<p>4 まとめ (2分)</p>	<p>4.災害時の外国人との5つの壁について説明する(2分)</p>	<p>【48】「災害時には、5つの壁がさらに強固になってしまふと言われています。外国人に「教える」ではなく、「一緒に考える」という姿勢で日頃から防災について話しあっておくことで、災害時のトラブルを減らすことに繋がります。」</p>
-----------------------	------------------------------------	--

■評価ポイント

<p>1 災害時に外国人が災害時の現状を知ることができたか</p>
<p>2 「やさしい日本語」の基本的なルールを理解できたか</p>
<p>3 ハザードマップ・防災マップの内容と使い方を学ぶことができたか</p>

■特記事項

<p>・内閣府によって避難勧告と避難指示の一本化が検討されていることを説明する(2020年7月31日現在)</p>
